

第3回新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会

次 第

- 日 時 平成22年11月29日（月）10時～12時
- 場 所 市役所4階41会議室
- 議 事 端出場温泉保養センターの今後の方向性について
(報告のまとめ)

議事録

事務局	<p>定刻がまいりましたので、ただいまから第3回端出場温泉保養センター検討委員会を開催させていただきます。本日はご多忙のところ、委員の皆様にはご出席いただきましてありがとうございます。近藤委員さんにつきましては、先程ご確認させていただきましたところ、本日は欠席ということでご返事いただいております。それでは、お手元の次第と合わせまして、前回の会議録を配布させていただいておりますので、ご確認のほどよろしくお願いたします。それでは、これからの進行は、委員長をお願いいたします。</p>
委員長	<p>それではただいまから会議に入らせていただきます。本日の次第につきましては、報告のまとめとさせていただきます。この報告書につきましては、事務局からまずご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、本日の資料としてお配りいたしております報告書案につきましてご説明をいたします。まず、報告書のまとめにつきましては、第2回検討委員会におきまして委員の皆さんからいただきましたご意見が中心になっておりますけど、報告書のスタイルといたしましては、まず表紙をめくっていただきますと、1ページ目から6ページ目までに新居浜市端出場温泉保養センター検討結果という形で、これまでの検討委員会での協議の経過・内容・結果等をまとめました委員会としての報告の部分、また7ページ以下には、資料編としまして、皆さんからのいただいたご意見を存続・廃止に分けて分かりやすく整理した委員意見の概要と、その後に会議での議事録や資料を添えまして一つの報告書という形にしたいと考えております。本日の会議としましては、委員会の報告の部分1ページから6ページの部分に対して委員の皆さんのご意見をいただきたいと考えております。</p>
	<p>報告書説明</p>
委員長	<p>ただいま事務局の方からご説明がありました検討結果の報告の部分につきまして、ここをこうしたらいいとかの手直しとか、あるいは新たなご意見としてこういうことを付け加えてほしい等、何でも結構ですのでご意見をいただきたいと思ます。</p>
委員	<p>よくまとまっております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>よくまとまっています。施設がなくなる方向ではあるのですが、廃止した後のことを考えたら、我々観光物産に携わっておりますので、早く代替案がもしあればお願いしたいと思ます。</p>
委員長	<p>後の問題についてもこの報告書にありましたように、今後どのようにしたらいいのかというのをよく検討していただいてという文言が入っていると思ますので。</p>
委員	<p>報告書としては非常によくできていると思ます。マイントピアは非常に多い人数を集客している。ですがその割にはお金が落ちないということですから、温泉がもしなくなつたとしても、それに代わるだけのお金が落ちるような方向性を見つけていかないといけな</p>

委員長	<p>いと改めて思っております。</p> <p>その後のことは非常に重要なことです。今まで以上に重要なことなのじゃないかなと思います。</p>
委員	<p>新しい施設ができる時には、やはりできるだけ市の負担がかからない施設を造らないと温泉をやめた意味がございませんので、なおかつ観光客もお客さんも今以上に施設に魅力があつて来ていただけるようなものを造ってもらいたいですね。</p>
委員長	<p>次の問題には色々な問題があると思うのです。市がやるのか第三セクターがやるのか、あるいは一企業にお願いするのか。問題は多々あると思いますが、そのことについては、また後ほどということになります。</p>
委員	<p>これをいただいた時に、うまくまとめたなと思いました。今後のことを、新居浜市、第三セクター、その辺も含めたやり方を根本的に考えないといけないと思います。</p>
委員長 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>文章的にはまとまっていると思います。当初思っていた、なんとか結論を出していただきたいという感じでしたが、なかなかこれは結論出しにくいという状態になっておりますし、文章的にはこれで市長さんの判断になると思うのですが、我々市民としては、これだけの税金を毎年投入するというのは、市民感情として大変問題でございます。私が一番心配するのは、皆さんもおっしゃっているとおり今後どのような活用になるかということですが、これがうまくいかないでマイントピア自身が大変なことになるのじゃないかと心配をいたします。今は東洋のマチュピチュということで県内外から来ていただけていますが、これがいつまでも続くわけではないと思うのです。そしたら、道の駅として、市民に納得いくような方向付けを、皆さんほかそれとも市長自ら結論を出すのか分かりませんが、そこの結論を出さないと、今からの経営状態、生き残りは難しくなってくるのじゃないかと思えます。世の中このような状態ですので、逆に考えると、私も八幡浜の「きなはい屋」という道の駅に行きましたが、あそこは今ものすごいです。そしてすべてのイベントをあそこでやっているのです、なおすごく盛り上がっているのです。できた時ですので、そういう盛り上がりがあるのかと思えますが、マイントピアも20年になりますので、やはり当時の勢いがなくなった。そしたら何か一つ活用されるようなものを考えていかないと存続は難しいのじゃないかなと。皆さんの知恵を出し合って、そこを何とか考えなくてはいけないのじゃないかと。私は、今からがマイントピアにとって出発点に来たのじゃないかと考えますので、ぜひお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。一応皆さんのご意見をお伺いしていますと、報告書につきましては、まずまずの出来であるということでございます。ただ、当初から委員会活動の答申は是か非かということじゃないかということでもございましたが、私も初め聞きますとなかなか難しい、これを是か非かと決めてしまうと、是の委員さん非の委員さんがありまして、多数決で押しつけるというのも問題になるし、委員会の意見というよりも市ご当局の最後の判断に任すしかないのじゃないかというふう考えたものです。当初から市ご当局の話も、意見を色々聞いていただきたいということでございましたことから、こういうことになったので、ご了承いただきたいというふうに思う次第です。</p>

副委員長	<p>すごく微妙な心内をよく表していただいていると思いました。賛成でもなく反対でもなく、そのどちらとも言えないけどどちらかという思いを文章に入れていただいているので、できることならという思いも入れていただいていたので、とても良かったと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。だいたい以上のようなことでこの報告書については、異議なしということでございます。</p>
委員	<p>私も新居浜市の職員として委員に入っているのですが、もう一つこの施設自体を預かっている経済部の部長としてこういった検討委員会をさせていただきまして、本来であれば市長がお礼を申し上げるところでございますが、本当に真摯にマイントピア別子の将来を考えていただき、ご意見もいただいて御礼を申し上げます。二つのご意見に対しまして、担当部長としての考えを披瀝させていただきまして、今後この検討委員会のご意思を真摯に受け止めて、しっかり議論をしていきたいと思っております。一つは、今後市長が判断していくことではありますが、もし存続ということになりましたら、端出場温泉保養センターが端出場のエリアにあるということは、対観光、対市民というすばらしい施設を両立させていかななくてはならないことなので、観光客に喜ばれるような施設になるように、市民の方に喜んでいただける施設に、今以上にかわいがっていただける施設になるように努力していきたいというふうに思っております。また、一方、仮に廃止ということになりましたら、当然出発はおそらく観光施設としての株式会社マイントピア別子と一体となった新居浜の観光づくりの拠点となる施設として再生していくということになるだろうと思っております。それにつきましては、しっかりしたコンセプトを基に、施設の改修に取り組みたいというふうに考えております。ただ、今1億数千万円の赤字を出しております。なおかつ、それと同等の費用をかけて観光客を誘致することが新居浜市にとって有意義なことなのかということも、改めまして検証させていただきまして、私個人としては、できるだけ歳出を抑え、歳入を増やすという施設があれば、そういったことに考えていきたい。そういったことについては、それぞれの関係諸団体の皆様のご意見を聞きながら、まずは新居浜市民に愛され、そして新居浜を訪れる人達に愛される施設を造っていかなくてはならないと思っております。何よりも大事なのが、別子山もそうなのですが、新居浜市民の方が、あの施設が新居浜市のものであると思えるような施設に再度構築させていただければと思っております。三回にわたりまして、本当に貴重なご意見、担当職員も肝に銘じてこれからの仕事に携わっていただけるようなご意見をいただきましたことに御礼を申し上げたいと思っております。後は市長がどのように判断するかということではありますが、どちらにいたしましても、三回でありましたが本当にありがとうございました。</p>
委員長	<p>ただいま詳しい今後についてのお話ありがとうございました。そうしましたら、恐縮なのですが、最終案ということでとりまとめて、市長さんへの報告にさせていただければと思うのですが、市長さんへの報告については、委員長の私にご一任いただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、ご一任いただいたものとさせていただきます。ありがとうございます。なお、最終の報告書につきましては、まとめ次第、事務局よりお送りしますのでよろしく願いいたします。なお、市長への報告の日程が決まりましたら、</p>

	<p>委員の皆様にもお知らせをいたしたいと思います。同席を希望される委員さんには、ご一緒いただきたいと思いますと考えておりますので、ご都合のほど事務局までご返事いただきますようお願い申し上げます。以上を持ちまして本日予定しておりました議事を終了いたします。本日報告書のとりまとめという一定の結果を見ましたので、一応今回を持ちまして新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会を終了することとさせていただきます。最後になりますが、会議の運営に際しましては、委員の皆様のご協力並びに熱心なご発言によりまして円満に会議を進めさせていただきましたことにお礼を申しあげまして、閉会の挨拶にさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
--	--

新居浜市端出場温泉保養センター
検討結果報告書（案）

平成22年 月

新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会

新居浜市端出場温泉保養センター検討結果

(1) はじめに

新居浜市において平成22年9月8日に新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会が設置され、平成22年10月4日に市内の観光関連団体、観光施設運営者、利用者、住民団体、行政を代表する方々10名が委員の委嘱を受け、新居浜市端出場温泉保養センターの今後の方向性について協議してまいりました。

このほど協議しました結果をまとめましたので次のとおり、報告いたします。

(2) 協議経過

第1回検討委員会

平成22年10月 4日(月) 市役所3階応接会議室

- ・端出場温泉保養センターについて(事務局説明)
- ・端出場温泉保養センターの今後の方向性について(新居浜市委員説明)

第2回検討委員会

平成22年11月 8日(月) 市役所3階応接会議室

- ・端出場温泉保養センターの今後の方向性について(意見交換)

第3回検討委員会

平成22年11月29日(月) 市役所4階41会議室

- ・端出場温泉保養センターの今後の方向性について(報告のまとめ)

(3) 協議内容

協議いたしました内容につきましては、端出場温泉保養センターの今後の方向性ということではありますが、第1回委員会冒頭の副市長のご挨拶の中で、「廃止もやむを得ない」との市の考えがあらかじめ示され、また、経済部長の佐々木委員からは、廃止に当たっての考察について説明がありました。

これを受けまして、委員会の中で、あくまで「廃止」が決定事項ではないということを改めて確認し、また協議を進めていく前段として新居浜市の考えを伺うことは、今後委員それぞれの考え方を整理していくために必要なものとして受け止め、その後の協議に臨んだところであります。

「端出場温泉保養センターの今後の方向性」について協議することとは、すなわち端出場温泉保養センターの存続・廃止について議論することになりますが、存続・廃止について最終的な判断と責任は市長にあり、委員会といたしましては、存続・廃止の結論を出すものではなく、それぞれの立場からご参加いただいている委員の貴重なご意見をすべて市長に報告することといたしまして、各委員からは、存続すべきか、あるいは廃止すべきかについて、ま

たその理由及び存続する場合にはどのように存続するのか、廃止する場合には廃止後はどうするのかについてご意見をいただきました。

(4) 協議結果

新居浜市端出場温泉保養センターを存続または廃止することにつきまして、行政の委員を除く9名の委員から出されましたご意見につきましては、結論から先に申し上げますと、「存続」・「どちらかといえば存続」という存続のご意見が2名の委員からございました。また「廃止」・「どちらかといえば廃止」を合わせた廃止のご意見が7名の委員からございました。

なお、委員それぞれからいただきましたご意見につきましては、新居浜市端出場温泉保養センターの概要や目的、現状等について事務局から詳細な説明と資料の提出を受け、共通認識を図った上で、資料等を持ち帰り、所属されている団体においても広く意見を求め、議論した結果をご報告いただいたものとなっております。

「存続」の主な意見といたしましては、新居浜の資源でもある温泉をできれば残す方向で検討をお願いしたい。料金を下げて多くの人に利用してもらうことや、ゆったりとしたスペースを有効に活用した公共施設でないといけないサービスを提供するなど、利用者を

増やす努力をして、市民の温泉保養センターとしての目的を達成するのが本来の姿ではないか、ということでした。

また、「廃止」の主な意見としましては、温泉施設については観光客の利用も見込めず、料金を下げれば収益が増えるというものではなく、継続することは現実には難しい。また一方、温泉施設がなくなることで、雇用や他の施設の売上に大きく影響し、賑わいがなくなるという課題がある。温泉廃止の方向を打ち出した上で、2年ぐらいかけて、産業遺産という切り口も含め、温泉施設に代わるものとして、市外・市内からの集客が期待でき、収益も上がるような施設を検討していかなければならない、ということでした。

委員の個々のご意見の概要につきましては、「委員意見の概要」として報告書に付けておりますが、詳細につきましては、議事録もお目通しいただきますようお願い申し上げます。

(5) 委員会として

新居浜市端出場温泉保養センターの温泉施設につきましては、今後観光に大きく寄与することは見込めず、現状のままの運営を続けていくことが困難でありますことは委員会の意見として一致するところでありまして、新居浜市端出場温泉保養センターの今後に関する

る市民の不安や関心が高まっている中、市長におかれましては、遠くない時期に存続・廃止について明確なご判断をいただけるものと期待いたしているところであります。

その際、存続される場合には、さらに経営努力をいただき、公共施設として、今まで以上に広く市民に利用されるものでなければなりませんし、新居浜市端出場温泉保養センターの位置づけを明確にされ、引き続き温泉施設に市民の貴重な税金（一般財源）を投入することについての多くの市民の理解を得られることが必要であります。

また、廃止される場合には、激変を緩和するために、廃止のための準備の時間を一定期間設けられ、また、早期に温泉施設に代わる新たな観光に寄与する施設の具体化に取り組み、株式会社マイントピア別子ほか関係者、従業員等への影響が最小限に止まるようご配慮され、関係者の意見を聞き、理解を得ながら円満な廃止手続きが進められることを望みます。

なお、存続・廃止にかかわらず、温泉施設として運営が続く間は、一般財源を削減するための経費の節減など経営努力に取り組まれることをお願い申し上げます。

いずれにいたしましても、委員一同、マイントピア別子全体がますます発展していくことを心から期待しておりまして、観光客にも市民にも愛される施設となりますことを願っております。

最後になりますが、本報告書は、各委員がご多忙にもかかわらずご出席いただき、またご熱心にお取り組みいただいたおかげによりまとまりましたことを申し添えまして、謹んで市長にご報告申し上げます。

平成22年 月 日

新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会

委員長 畑 田 達 志

— 資 料 編 —

1	委員意見の概要P8
2	第1回議事録省略
3	第2回議事録省略
4	第3回議事録省略
5	第1回資料省略
6	第2回資料省略
7	新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会設置要綱省略
8	検討委員会名簿省略

新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会 委員意見の概要

1 存続の意見

委員	
	<p>⇒どちらかといえば「存続」</p> <p>○マイントピア別子は新居浜の資源でもあり発展できるよう、2年くらいを目途に、マッサージとかもう一度検討して、もっと知恵を出し合ったら数字的には上がってくるのではないかと</p> <p>○できれば残したい方向ではあるので、やはり来年再来年に向けて数字が上がるようにもう一度検討をお願いしたい。</p>

委員	
	<p>⇒「存続」</p> <p>○温泉施設と株式会社マイントピアとは抱き合わせの経営をしている。 温泉施設の受託収入がなくなれば、株式会社マイントピアも赤字の方向に進んでいく。</p> <p>○サービスデーの時には、夕方8時頃行っても駐車場が殆ど埋まっている。ということは、一般市民の方は、料金500円という設定だったら来る。金額を下げてなるべく多くの人に利用してもらおうというのも、温泉保養センターの役割ではないか。</p> <p>○温泉施設は、当初から観光目的に限定したものでない。市民の保養を目的としてできている。観光のために寄与することを考えたら、たぶんそれは無理である。</p> <p>○方向性として、今までの特徴を生かしたサービスを提供することにより、市民の温泉保養センターとしての目的を達成するのが本来の姿ではないか。</p> <p>○マイントピアの天井の高さ、風呂の広さとか、これは確かに経費がかかるマイナス要因になっているが、風呂や休憩室の広さとかいうのは、ああいう公共的な施設ではどこにもないのではないかと。お年寄りや子供連れが来た時にゆっくりできるよう、スペースをもっと有効に利用する方法を考えていく必要があるのではないかと。</p> <p>○あかがねの間に保健所的な機能を持たせ、健康体操、ストレッチをすることももっと公共のサービスに徹したようなサービスを提供することによって、年寄りが来やすいようにする。新居浜市だけではなくて、西条、四国中央市からもマイクロバスで乗り付けるような集客をするのも一つの手ではないかと。</p> <p>○民間でできることは民間でというのは時代の流れであるが、逆に公共施設でないとできないようなサービスを提供することによって、経営を立て直していく必要があるのではないかと。</p> <p>○時間をかけて経営とか営業努力とかを見直す必要があるのではないかと。今まで経営努力をやっていてくれれば、もっと単価も下がっていただろうし、お客さんも増えていた。</p> <p>○今まで経営した結果こうなっているから、やめないといけない、これは意見としては正しいかもしれないが、この間全然努力していないのに、これまで続けてきたがこれから先やっていくのは全く無理だというのは、乱暴な意見である。</p> <p>○赤字の解消はできないかもしれないが、色々な面で努力していけば、もっと入浴客が増える、お客さんが増えることによってレストラン等の売り上げも上がり、いわゆる温泉施設という売り上げではないが、保養施設としての役割と付帯設備の売り上げと収益も上がっていく。</p>

2 廃止の意見

委員長		
<p>⇒どちらかといえば「廃止」</p> <p>○ここ2年ぐらいの間に色々、経営の努力をして、市の負担が少なくなってくれば継続もできるし、努力した結果負担が依然として変わらんということであれば、もうこれは廃止もやむを得ないのではないか。</p> <p>○2年間ぐらいの猶予を持って経営努力して施設の改善・改良を考えてやらないと、マイントピア別子の売店、食堂、人の問題についても、廃止しただけでは寂しくなるのではないか。</p>		

副委員長		
<p>⇒どちらかといえば「廃止」</p> <p>○できることなら継続してもらいたい気持ちがあったが、現実難しい。</p> <p>○マイントピアは私達女性にも思い入れのある場所でもあって、お風呂がなくなっても、やはりもっともっと発展してほしい所でもある。</p> <p>○こうしたらいいというアドバイスまではできないが、いろんな人に知恵を出していただき、発展して行ってほしい。</p>		

委員		
<p>⇒「廃止」</p> <p>○経済界を代表して、温泉施設を廃止するのか存続するのか、条件付きで存続するのかの3点で考えた場合、廃止するべき。</p> <p>○温泉施設をやめたとしても、新たなマイントピアの活性化に向けて、産業遺産という切り口も含めて、具体的に後の利活用をどうするかというも含めて考えるには、2年間ぐらいかけて考えていかなくてはいけないという観点から、2年後に廃止ということ申し上げたい。</p> <p>○今後2年程度かけて検討をすとしても、いくら経営努力しても、諸般の事情からこれが黒字体質に変わるというのは、99.9%ない。</p> <p>○少なくとも廃止の方向を打ち出した上で、マイントピアの活性化を検討しなければならないが、市外・県外の方がマイントピアを利用していただくのが本来の姿である。市民が安い料金でマイントピアの温泉を利用することが、本当に活性化に繋がるのか。</p> <p>○今から経営努力を行い黒字になる可能性があるのだったら、温泉を続けたらいいというそんな奇麗事の付帯条件ではいけない。</p> <p>今更、そんなことができるのだったら、なぜ、これまでこのようなことになったのか。</p> <p>○これまで、市もマイントピア別子も温泉施設利用客拡大に向けて色々な意味で取り組んできたが、それでいて現在の姿しかない。数字は現実を如実に物語っている。</p>		

委員		
<p>⇒どちらかといえば「廃止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マイントピアに来る観光客（団体客）が非常に多くなっても、温泉施設を利用する方が見込めないで、どちらかという、廃止すべき。 ○ただ、どこの施設に行っても最近足湯が大変人気あるので、そういう部分は残す。 ○温泉跡はマイントピアとしての何か位置づけみたいなのができるように、それから市内・市外からお客さんをお呼びして利用してお金が落ちていくような施設を今後何年かけて考えていくべき。 ○市民だけの温泉ではなく観光客を取り込んでいくために、もっと市民が真剣に考えていかないと1億何千万円は非常にもったいない。もっとこのお金を有効利用できるのではないか。 ○こんなにお金をかけるのだったら、短絡的にやめようかということになっているので、今後2年とか3年かけて市民ももっと考えていくべきではないか。 		

委員		
<p>⇒どちらかといえば「廃止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校区連合自治会長18人のうち、1人だけが「マイントピアは新居浜の観光の象徴。1億2千万円いったって、1億5千万円いったっていい」ということで存続であった。それ以外の17人は廃止である。「それだけのお金を持ち出して、何故新居浜市、我々が負担しなければならないのか」「そんな赤字を出しとったのか、そこまで出すのだったら、する必要がないのでは、そのお金を有効に使ってくれる方がいいじゃないか」という意見である。 ○金額800円は高い。何かいいアイデアを出していただいて、そのお金を下げるとか、経営努力することにより、またいける可能性があるのではないか。 ○道の駅なりのやり方があるのではないか。意識改革、経営努力によって、車が少々混んでも、いい所は来ていただけるのかなという感じがするので、そういう努力も必要。 ○マイントピアは温泉施設が売り。温泉がなくなるとなれば、何か違うものを絶対考えないとマイントピア全体が寂れてしまう。 ○行政が考える問題ではあるが、行政には限度があるのかなと、第3セクターでやるべき方が本当のサービス、あらゆるものができるのではないか。 		

3 廃止の意見（経営当事者の立場）

委員		
<p>⇒どちらかといえば「廃止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○温泉がなくなることによって、マイントピアとしてはメリットがない。 賑わいが無くなる。テナントの家賃収入が半分になる。売店の売上げが落ちる。 ○本当に税金を1億5千万円も毎年入れて本当にいいのだろうかという考えもある。 新居浜市全体のことを考えると、マイントピアも努力をしないとイケない。 ○従業員も6割余りが温泉に従事しているので、もし温泉がなくなった場合は、その従業員がいない。温泉の後も雇用できるような施設を検討してもらいたい ○温泉をやめるようになった場合にも、市民も観光客も賑わうような施設を考えてもらいたい。 ○3セクであるマイントピア別子が全部指定管理者になり経費見直しをして営業した時にも、経費の1割くらいしか削減できない。 ○料金も安くしたらいいというが、安くすれば人は来る。しかし、人が同じだったら赤字が増えるという現状なので、金額を下げたらいいということではない。 ○マイクロバスによる温泉客の送迎はお手軽プランといって、千円で送迎、温泉・食事もできるということで、かなりサービスしている。温泉300円、料理700円で、やはり赤字なのだが、市民のためということでやっているサービス。それを増やしたから収益が増えるということはない。逆にお客さんが増えることによって赤字が増える。 ○社長は市長ですので、市長が決断することになる。 		

委員		
<p>⇒どちらかといえば「廃止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4階スナックコーナーの売上げの全体に占める構成は、6月42.1%、7月45.2%、8月46.6%、9月50%で、温泉がなくなることによって、4階の占める比重は非常に高いということで、うちにとって痛手となる。 ○うちの都合ばかりで継続をお願いするというわけにはいかないが、先程の船越専務と同じスタンスで、一市民としてそれだけの負担をしながら、果たして自分たちの会社のことだけで賛成とか反対とか言うのは、ちょっとおこがましいかなというのがある。 ○通常は、4階をやめるけれど、こういう形で進めますからどうでしょうかという話があっただけでしかるべきではないか。 こういう話と同時にある程度の市としてのビジョンとか、そういう考えは欲しかった。 		